

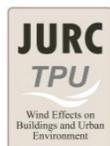
2021年3月25日（木）の研究会は、以下の共同研究の合同開催とします。

13:00～15:30

「風環境評価に広域 PIV 計測手法を適用するための基礎的検討」に関する公開研究集会

15:40～16:30

「Determination of wind loads acting on different standard building models and comparison with identical scenario obtained using results from other tornado simulators」に関する公開研究会



「Determination of wind loads acting on different standard building models and comparison with identical scenario obtained using results from other tornado simulators」に関する公開研究会

研究代表：Sabareesh Geetha Rajasekharan, BITS-Pilani, Hyderabad Campus, India

趣旨：近年、気候変動に伴う自然災害激化への関心が高まっている。一般的な耐風設計では、台風のような比較的広範囲に影響を及ぼす強風を対象に荷重評価の方法が構築されている。作用する強風に関する情報は、気象官署における地上観測記録や台風モデルによる補完により極めて稀な暴風時の風が評価され、その状況における大気境界層を乱流境界層風洞により模擬して風圧力を決定し、建物の応答評価を経て各部材等の構造設計が行われている。しかし、近年の風関連災害を見ると、台風だけでなく、竜巻等の突風による被害も少なからず報告されている。本研究では、竜巻による突風が作用する建築物の風荷重を評価するために、竜巻状気流シミュレータを用いて、気流の性質や風圧力の特性を検討する手法の確立を目指している。手法の標準化を目指して、統一的な条件で実験を進めている。本公開研究会では、低層建築物を想定した単純形状の模型実験結果を吟味する。

主催：東京工芸大学 風工学研究拠点（文部科学省 共同利用・共同研究拠点）

開催日時：2021年3月25日（木）15:40～16:30

開催場所：Zoomによるオンライン開催

（13時からの研究集会のZoomに引き続きご参加ください。参加申し込みも同一です。）

プログラム

15:40～15:50 趣旨説明

松井正宏，東京工芸大学

15:50～16:20 低層建築物に対する竜巻状気流による風圧力

Wind pressure distributions on surfaces of a standard low-rise building in tornado-like flows

Sabareesh Geetha Rajasekharan, BITS-Pilani, Hyderabad Campus

16:20～16:30 意見交換